

令和3年度

阿南市立大野小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 「チャイムスタート」で授業を始め、自主的に学習に取り組む児童の育成
- 根気よく丁寧に取り組む児童を育成し、基礎・基本の確実な定着を図る

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長・総括	安西 栄美
津川 美香		教頭・総括補佐	北垣 真由美
		教務主任	枝川 弘明
		研修主任	小川 英子
		特別支援コーディネーター	松岡 沙知子

校長

安西 栄美



◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

研修での教員からの報告や管理職による授業参観等、様々な機会に取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書きや音読・計算などの力が向上してきた。 ●学力差があり、定着の難しい児童もいる。字形を整える意識の低い児童、既習漢字を適切に使用して文章を書くことに課題のある児童が見られる。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる。 ・読書に親しみ、豊かな言語力が身につけている。	・ICTを利用した授業を行ったり、週1回以上、ノート点検をしたりするなどし、学習環境や学習規律を整える。 ・辞典を使って調べることを習慣づける。 ・学年末に漢字検定・算数検定を実施し、定着度を確認する。	・ICTの効果的活用方法を考える。 ・ノート点検を計画的に行う。	・デジタル教科書、タブレットの活用、視覚的にわかりやすく、授業への関心を高めることができた。 ・漢字検定、算数検定の実施で定着度合いや個々の苦手を確認することができた。	・これからもICTの効果的活用の研修を進め、効果的な授業展開を目指す。 ・タブレットを活用し自主学習にも効果的に活用できる方法を考えていきたい。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○発表の方法や手順が分かる学習に関しては、意欲的に発表し、真面目に取り組んでいる。 ●自分の考えを文章に書いてまとめたり、順序立てて説明したりすることに課題がある。	・思考ツールを使って考えたり判断したりすることができる。 ・自分の言葉で、考えやその理由を話したり書いたりすることができる。	・ホワイトボードの活用を充実させ、全ての教科において、自分の考えを表現させる時間を設ける。 ・デジタル教科書やタブレット、パソコンのソフト等を積極的に活用し、表現力や思考力の向上に努める。	・自力解決の時間を十分に取り、自分の考えを書く、友達の意見と比較することで考えを深める。 ・タブレットの活用を進める。	・個々の意見を書き表す時間を取り、互いの考えを確認、比較することで学びを深めることができた。	・コロナ対策の中でもホワイトボードやタブレット等を活用し対話的な学びとなるような授業づくりをこれからも推進していく。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○落ち着いて生活し、課題や自主学習に意欲的に取り組もうとしている。 ●難しいと思う課題を避ける傾向があり、最後まで諦めずに取り組もうという意識に乏しい。	・課題や自主学習に進んで取り組み、目標を達成する喜びを感じるとともに、学ぶ楽しさを感じることができる。	・授業に直接体験を取り入れたり、ICT等を使ったりして、楽しく分かりやすい授業を行い、主体的に学習に取り組む意欲をもたせる。 ・毎時間、学習のめあてと振り返りを確認し、自己評価力をつける。	・振り返りの時間を確保し、学習の成果と課題を把握できるようにする。	・ICTを活用することができ、児童の意欲向上、主体的に課題に向かう意欲を持たせることができた。	・誰もが主体的に楽しく取り組むことができるようこれからも効果的な方策を考え、個に応じた指導ができるようにする。 ・児童の実態に合った支援や助言を行う。

令和3年度 学力向上ロードマップ

